

2019年3月期 決算説明資料

2019年6月7日

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

代表取締役社長 野村拡張

目次

- I. テクノホライゾングループについて
- II. 2019年3月期 決算概況
- III. 2020年3月期 通期業績予想
- IV. トピックス
- V. 成長戦略
- VI. 経営課題の取組み

I. テクノホライゾン（Technohorizon） グループについて

テクノホライゾン・ホールディングス（会社概要）

社名 (英文名)	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)
設立年月日	2010年4月1日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 傘下の事業会社の経営管理・ 子会社の事業内容は「光学事業」と「電子事業」
所在地	愛知県名古屋市南区千竈通二丁目13番地1
代表者	代表取締役社長 野村 拓伸
資本金	2,500百万円（2019年3月末現在）
グループ従業員総数	896名（2019年3月末現在連結ベース）

テクノホライゾン・ホールディングス（設立経緯）

オプト・エレクトロニクス技術と強いマーケティング力
をもってグローバルな事業展開を推進すべく
JASDAQ上場2社が2010年に経営統合

テクノホライゾン・ホールディングス

エルモ社

設立:1933年5月8日

光学事業

電子事業

タイテック

設立:1975年9月1日

中日諏訪オプト電子

設立:2009年8月10日

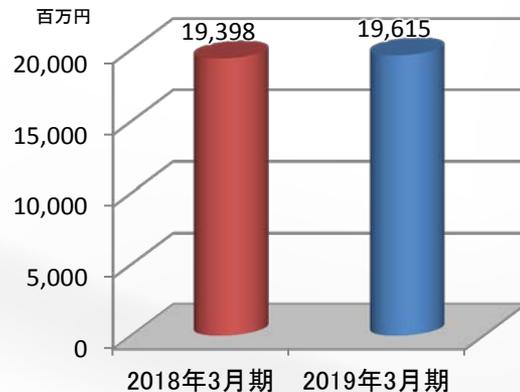
テクノホライゾン グループ経営理念

- ◆ **オプト・エレクトロニクス技術**
を核にグローバルな『人と社会』に貢献する
- ◆ **知恵とアイデアと積極果敢さ**
に溢れた事業展開を追求する
- ◆ 『**技術を活かすこと**』
『**皆さまのお役に立つこと**』
という姿勢を貫き、着実に前進する

II. 2019年3月期 通期決算概況

2019年3月期 通期決算 ハイライト (1)

売上高



営業利益



経常利益



■ 2018年3月期
■ 2019年3月期

グループ連結(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
売上高	19,398	19,615	1.1%
営業利益	1,000	1,141	14.1%
経常利益	1,110	1,110	△0.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	764	646	△15.5%

【売上高】売上は微増 前年同期比217百万円増

【営業利益】注力分野に対するM&Aや電子事業の増益により 前年同期比141百万円増

【経常利益】営業利益が増益となる一方、前期の為替差益118百万円がなくなり横ばい

【純利益】子会社の固定資産譲渡に伴い減損損失を374百万円計上。繰延税金資産を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は 前年同期比118百万円減

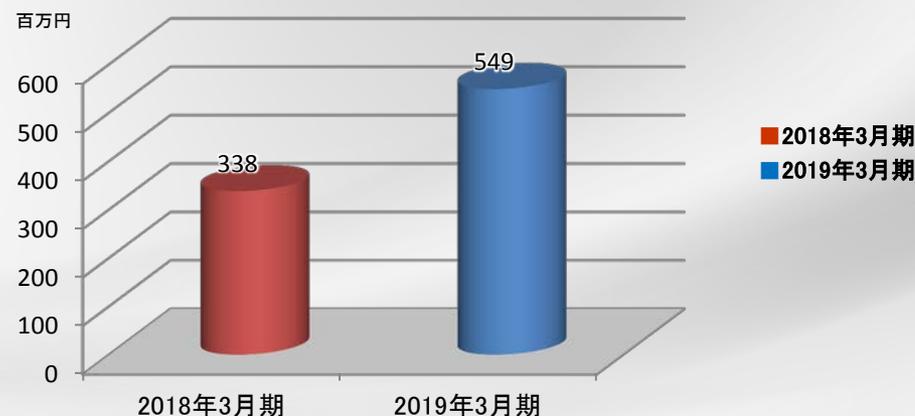
2019年3月期 通期決算 ハイライト (2)

【事業セグメント別】 光学事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
光学事業	売上高	12,337	11,939	△3.2%
	営業利益	338	549	62.3%

注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

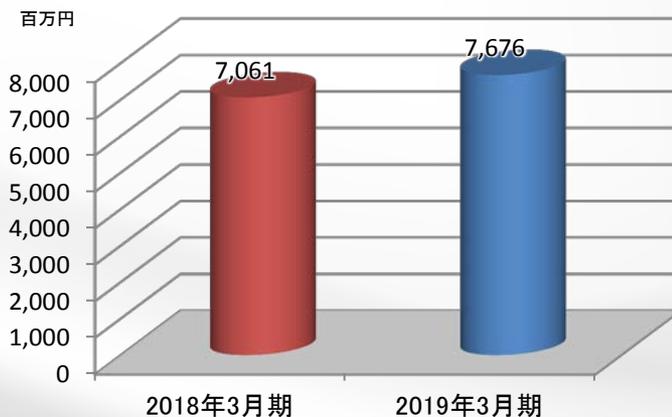
【光学事業】

- ・ 主要ビジネスである書画カメラ事業は、国内及び海外において、概ね想定通りで推移
- ・ 業務用車載機器(ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ)は、事業者の安全意識が高まる中、クラウドで運行データを保管できることが支持されて堅調に推移

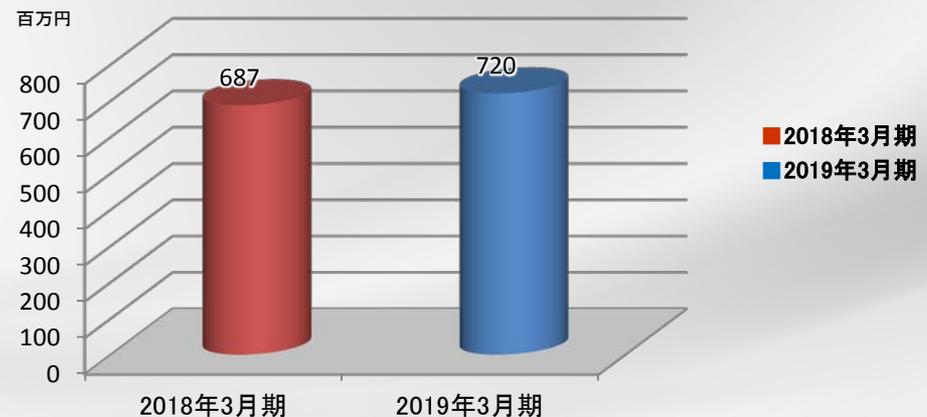
2019年3月期 通期決算 ハイライト (3)

【事業セグメント別】 電子事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
電子事業	売上高	7,061	7,676	8.7%
	営業利益	687	720	4.9%

注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

【電子事業】

- ・ 主力事業であるFA関連機器が、国内景況感の回復から国内機械メーカーからの受注を順調に伸ばした
- ・ FA中国現地法人も、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、堅調に推移
- ・ 買収した子会社の売上や収益が貢献

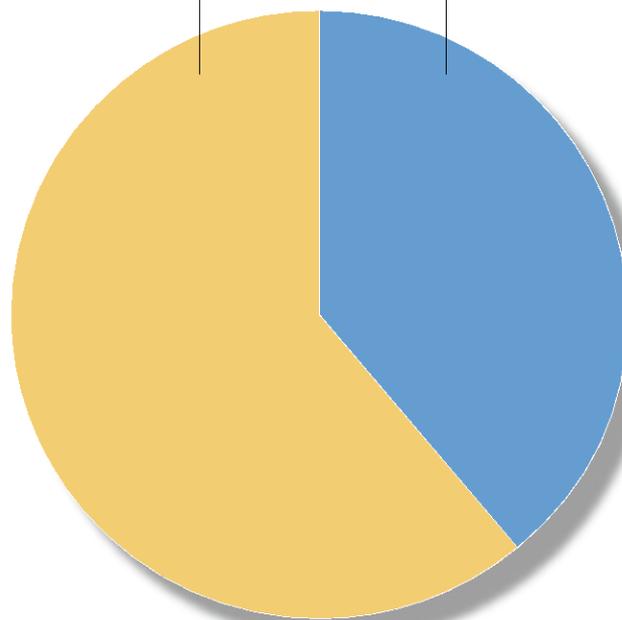
2019年3月期 通期決算 ハイライト (4)

事業別売上高構成

売上高 19,615百万円

光学事業
11,939百万円
60.87%

電子事業
7,676百万円
39.13%



2019年3月期 通期決算 ハイライト (5)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期 2018年3月31日現在	当期 2019年3月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	10,965	12,205	1,239
固定資産	6,499	6,429	△70
資産合計	17,465	18,634	1,168
負債の部			
流動負債	9,647	10,378	730
固定負債	2,095	2,034	△60
負債合計	11,742	12,412	670
純資産の部			
株主資本	5,225	5,818	592
その他の包括利益累計額	497	403	△94
純資産合計	5,723	6,221	497
負債純資産合計	17,465	18,634	1,168
自己資本比率	32.8%	33.4%	0.6pt

(資産の部)

【流動資産】

現金及び預金275百万円増、受取手形及び売掛金659百万円増

【固定資産】

無形固定資産1,189百万円増加、有形固定資産が1,437百万円減少

(負債の部)

【流動負債】

支払手形及び買掛金56百万円/短期借入金601百万円増加

【固定負債】

長期借入金90百万円増加、退職給付に係る負債143百万円減少

(純資産の部)

【純資産合計】

利益剰余金592百万円増加、為替換算調整勘定97百万円減少

2019年3月期 通期決算 ハイライト (6)

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前期	当期	増減
	自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日	自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日	
売上高	19,398	19,615	217
売上原価	14,325	14,154	△171
売上総利益	5,072	5,461	388
販売費及び一般管理費	4,072	4,320	247
営業利益	1,000	1,141	140
営業外収益	161	38	△122
営業外費用	51	69	18
経常利益	1,110	1,110	△0
特別利益	133	1	△131
特別損失	257	389	132
税金等調整前当期純利益	986	721	△264
法人税等	221	75	△146
当期純利益	764	646	△118
親会社株主に帰属する当期純利益	764	646	△118

【売上高】

光学事業は11,939百万円(対前年397百万円減)となるが、電子事業が7,676百万円(対前年614百万円増)となり増収。

【営業利益】

売上原価171百万円削減、販売費及び一般管理費247百万円増

【経常利益】

営業外利益(主に為替差益118百万円)122百万円減

【当期純利益】

特別利益131百万円減

2019年3月期 通期決算 ハイライト (7)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前期	当期	増減
		自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,820	465	△1,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△683	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,599	546	2,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△52	△106
現金及び現金同等物の増減額	△32	275	307
現金及び現金同等物の期首残高	1,825	1,793	△32
現金及び現金同等物の期末残高	1,793	2,068	275

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税金等調整前当期純利益721百万円、減価償却費333百万円、減損損失374百万円、売上債権の増加額△542百万円、法人税等の支払額△219百万円等

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

有形固定資産の売却による収入1,057百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△622百万円、事業譲受による支出△719百万円等

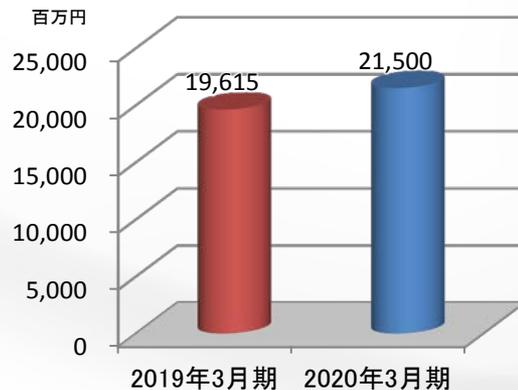
【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の純増加額532百万円、長期借入れによる収入1,000百万円、長期借入金の返済による支出△906百万円等

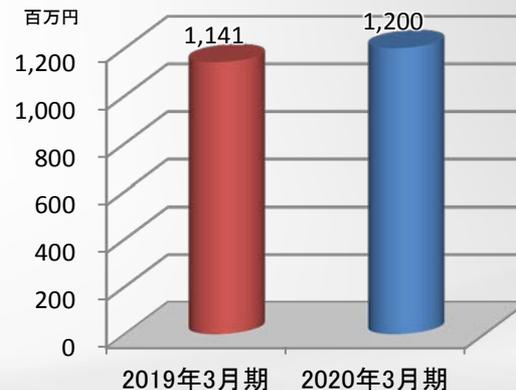
III. 2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想

売上高



営業利益



経常利益



■ 2019年3月期
■ 2020年3月期

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
売上高	19,615	21,500	9.6%
営業利益	1,141	1,200	5.2%
経常利益	1,110	1,200	8.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	646	900	39.3%

【今後の重点施策】

重点とする「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの市場で、既存事業のシェアを高めることに注力し、技術連携、協働商品開発の強化による高付加価値事業・商品への展開を推し進め、成長を目指す

- ①新たな顧客価値の創造
- ②マーケティング力の強化
- ③生産性の向上

2020年3月期 株主還元

年間配当予想 : 2020年3月期の配当は年間1株あたり10円(対前年6円増)



IV. トピックス

トピックス : テクノホライゾングループの動き

国内営業拠点の強化

エルモ社が、既存販売代理店との関係性の強化・構築ならびに新規販売代理店開拓を強化するため、京都オフィスの開設と東北営業所及び広島オフィスの移転を行いました。

エルモ社の本社東工場を売却

2019年1月31日に、エルモ社が所有する土地及び建物(本社東工場:名古屋市瑞穂区明前町)を、経営資源の集中と効率化及び財務体質の強化を図るために売却しました。



ELMO USA Corp.の土地・建物売却及び移転

2019年4月15日に、エルモ社の海外現地法人であるELMO USA Corp.(ニューヨーク)が所有する土地及び建物を、資産の効率化と財務体質の強化を図るために売却しました。なお、ELMO USA Corp.本社は賃借物件に移転しました。



旧社屋



新社屋

ELMO Industry(Thailand) Co.,Ltd.の生産を中止

2019年4月に、エルモ社の海外現地法人であるELMO Industry(Thailand) Co.,Ltd.(エルモタイ工場)での生産を中止しました。

今後は、製造工程を当社の連結子会社・中日諏訪オプト電子の子会社である東莞旭進光電有限公司(中国・広東省)に集約します。



エルモ社の監視カメラ事業を子会社のケイグランデに譲渡

2019年10月1日に、エルモ社の監視カメラ事業の販売部門、品質保証及び保守部門を、ケイグランデに事業譲渡いたします。

新社名をエルモケイグランデ(予定)とし、エルモ社の持つマーケティング力、商品開発力、施工メンテナンス対応力などを取り込み、安全・生活分野を強化、間接部門の集約により業務の効率化を図ります。



トピックス : 新製品紹介 (教育市場)

完全ワイヤレス、バッテリー内蔵 可搬式書画カメラ MA-1 発売開始



エルモ社が、教育の情報化に取り組むすべての学校と教育機関に向けて、これまでの授業スタイルに加え、これから始まるデジタル教材を活用する授業プランにも対応できる、完全ワイヤレス、可搬式書画カメラ「MA-1」を2019年8月末から発売します。

本製品は、1台でデジタル教材やデジタルコンテンツの提示やインターネットの活用を可能とし、さらに、プロジェクターやモニターへのケーブル接続不要で、バッテリー内蔵による完全ワイヤレスな書画カメラです。



1台で2役！テレビチューナー内蔵電子黒板 「xSync Board」2019年度モデルの発売開始



エルモ社が、学校や教育機関を対象に、テレビチューナー内蔵の電子黒板を発売しました。

普通教室の限られたスペースの中、「地上デジタルテレビと電子黒板の2台を設置する」「電子黒板にテレビチューナーBOXを外付けする」などのハード面での課題を解決できる、テレビチューナー内蔵電子黒板のラインアップを用意しました。



トピックス : 新製品紹介 (FA市場)

スタンドアロンタイプ ロボットコントローラ「ITZ-3000」



タイテックが、ソフトウェア構成を一新した、スタンドアロンタイプのロボットコントローラ「ITZ-3000」を開発しました。

本製品は、コンパクトな外形に高速・多機能制御を実現。IoTに対応する多彩なI/Fを装備しています。また、お客様でもカスタマイズ可能なコントローラとなっており、独自のシステムにも柔軟に対応できるシステムです。



作業支援システム「ProWorkSupporter (プロワークサポーター)」を発売



生産現場の効率化や自動化が進む中、教育時間・作業立ち合い時間の短縮、新人の即戦力化及び作業ミスを継続的に軽減させる仕組み作りが喫緊の課題として挙げられます。

タイテックがこれらの解決策として、作業指示書をアニメーション化させ、プロジェクターにて作業台へ投影させる作業支援システムを開発いたしました。



トピックス : 新製品紹介 (安全・生活市場)

「事業者向けドライブレコーダー連携 ドライバーモニターシステム」DMSを発売

Finefit Design

中日諏訪オプト電子

中日諏訪オプト電子とアイシン精機(株)様が「事業者向けドライブレコーダー連携ドライバーモニターシステム」を発売しました。

本製品は、閉眼状態や視線、顔の向きを検出するアイシン精機(株)様のドライバーモニターシステムと、昼夜を問わず高精細な映像が撮影できる中日諏訪オプト電子のドライブレコーダーを連携することで、運転者の脇見、居眠りを検知すると、警報により運転者に注意喚起を行います。



JAFメディアワークス様向け新型ドライブレコーダー 「ドラドラまるっと DD-W01」発売

Finefit Design

中日諏訪オプト電子

中日諏訪オプト電子が、(株)JAFメディアワークス様向け高性能ドライブレコーダー「ドラドラまるっと DD-W01」を発売します。

本製品は、360度撮影可能なドライブレコーダーであり、今まで死角となっていた運転席や助手席側の状態を撮影する事が可能となりました。コンシューマー向けドライブレコーダーの先駆けである、JAFメディアワークス様向けに販売いたします。



トピックス : 新製品紹介 (安全・生活市場)

マルチQR決済端末「FP-1」にTIS(株)様のQR決済 ゲートウェイサービス「QR×DRIVE」が対応

Finefit Design

中日諏訪オプト電子

中日諏訪オプト電子のマルチQR決済端末「FP-1」に、TIS(株)様のQR決済ゲートウェイサービス「QR×DRIVE」が接続対応しました。

この接続対応により、様々な規格のQR決済に1台でマルチに対応することが可能となります。様々なQRコードの決済処理業務をワンオペレーションで可能とすることで、加盟店のQRコード決済時のレジオペレーションの負荷軽減を実現します。



LTE通信でかんたん接続、かんたんモニタリング 防犯カメラ「CP-2LTE」を発売

ELMO
CONNECTING MINDS

エルモ社が、LTE Mobile通信に対応した防犯カメラ「CP-2LTE」を発売しました。

本製品は、SIMとクラウド録画の契約がセットになったプランをご利用いただくと、設置工事が容易で建設現場やイベント会場などの仮設施設でも簡単に高画質の映像を確認することができます。



トピックス : 新製品紹介 (安全・生活市場)

フルHD パンチルトズームカメラ PTC-400HD-Aを発売

ELMO
CONNECTING MINDS

エルモ社が、監視防犯・講義録画・遠隔授業に最適なフルHD パンチルトズームカメラ PTC-400HD-Aを発売しました。

本製品は、既設の同軸ケーブルをそのまま利用してフルハイビジョン映像をアナログ信号で伝送するアナログHD方式を採用し、従来のアナログCCTVカメラと同等な伝送距離である最大500mを実現しながら約6倍の高画質監視が可能です。



EX-SDI 4K対応デジタルレコーダー 「SDVR-UHD1600EX」を発売

K-GRANDE

ケイグランデが、高画質で動画を記録するEX-SDI 4K対応デジタルレコーダー「SDVR-UHD1600EX」をエルモブランドで発売しました。

本製品は、EX-SDI/HDSDI のデジタル信号、HD-TVI/HD-AHDのアナログHD信号のマルチフォーマットに対応し、4MP、4Kカメラを接続して記録することができます。

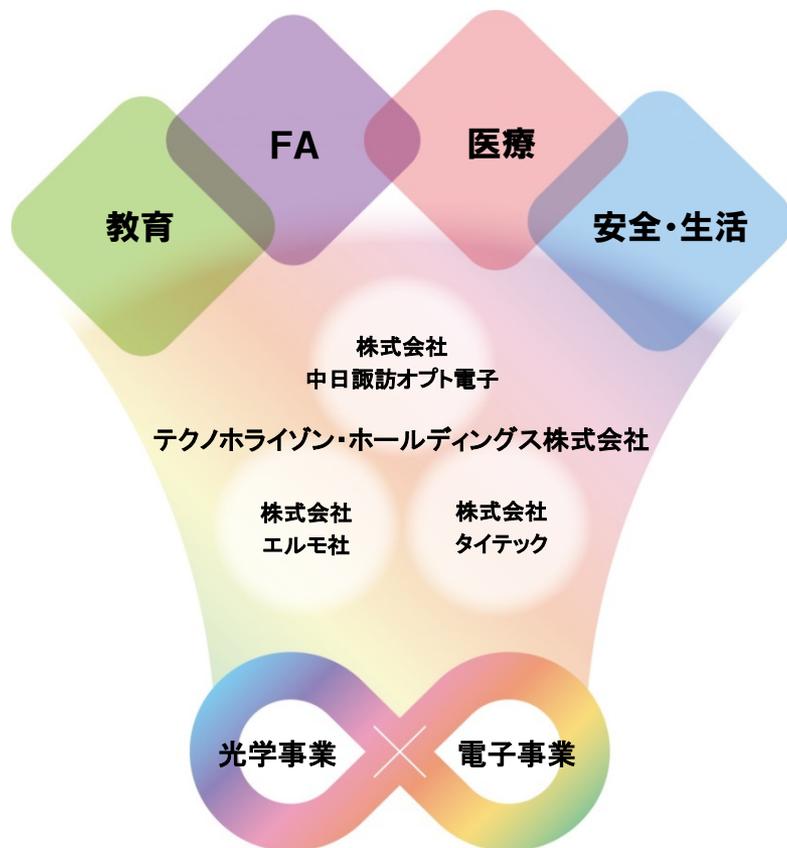


V. 成長戦略

成長戦略 : 4つの市場

「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの市場が重要市場

既存事業のシェアを高めることに注力



技術連携

協働商品開発の強化

高付加価値事業・商品への展開

成長戦略：「教育市場」

- ・シェアNO.1の書画カメラ(実物投影機)に国内液晶型電子黒板シェアNO.1のxSyncシリーズを加え、学校におけるICT環境の整備に貢献
- ・両製品を中心としたクラスルームソリューション(CRS)をグローバルに展開



事業領域の拡大と強化を図る

書画カメラ
シェアNo.1



100%整備!



電子黒板
シェアNo.1

成長戦略：「FA市場」

- ・ 中核子会社の(株)タイテックでは、社内カンパニー「OFFICE ITANZI」として活動
- ・ FA関連機器の分野で製品とサービスを「ITANZI」ブランドとして拡販



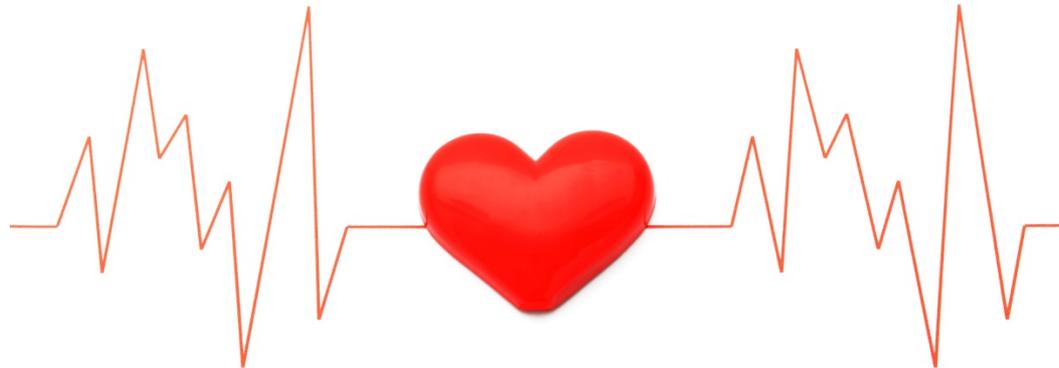
～ありきたりのモノでは満たされない。そこへプラスアルファの価値を～

FA 業界に新たな風を吹き込む「いい意味で異端児」となるべく
『あったらいいな、できたらいいな』という想いを大切に
新しい価値の創造にチャレンジしていきます

成長戦略：「医療市場」

- ・ 新たな事業創出と高付加価値事業の推進
- ・ 「ヘルスケア分野への参入」と「自社製品の医療機器開発」への取り組みを検討

ヘルスケア分野への参入



自社製品の医療機器開発

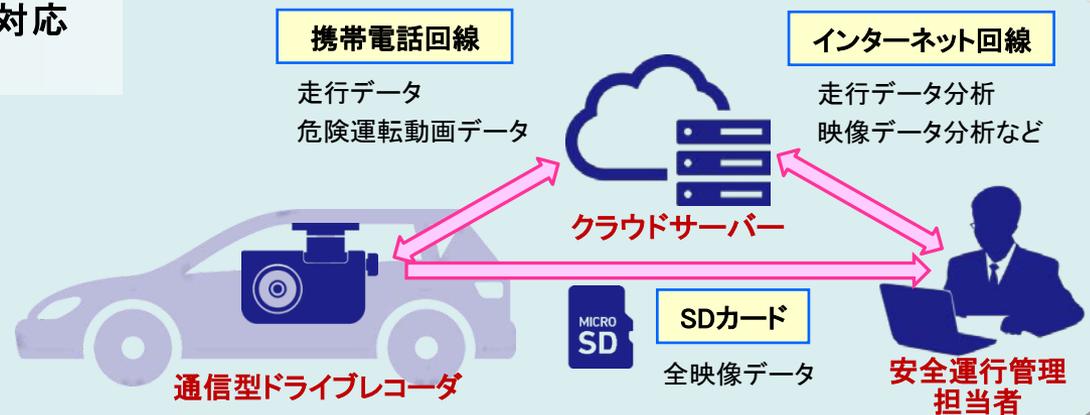
成長戦略：「安全・生活市場」（車載器事業）

- ・「通信型ドライブレコーダー」による安全運転管理テレマティクスサービス企業への対応強化
- ・コンシューマー向け「360度ドライブレコーダー」の発売

安全運転管理テレマティクスサービス対応 通信型ドライブレコーダーの強化



ICカード対応、Full HD
テレマティクス・ドライブレコーダ THD-501



コンシューマー向け 360度ドライブレコーダー



360度ドライブレコーダー



従来型ドライブレコーダー

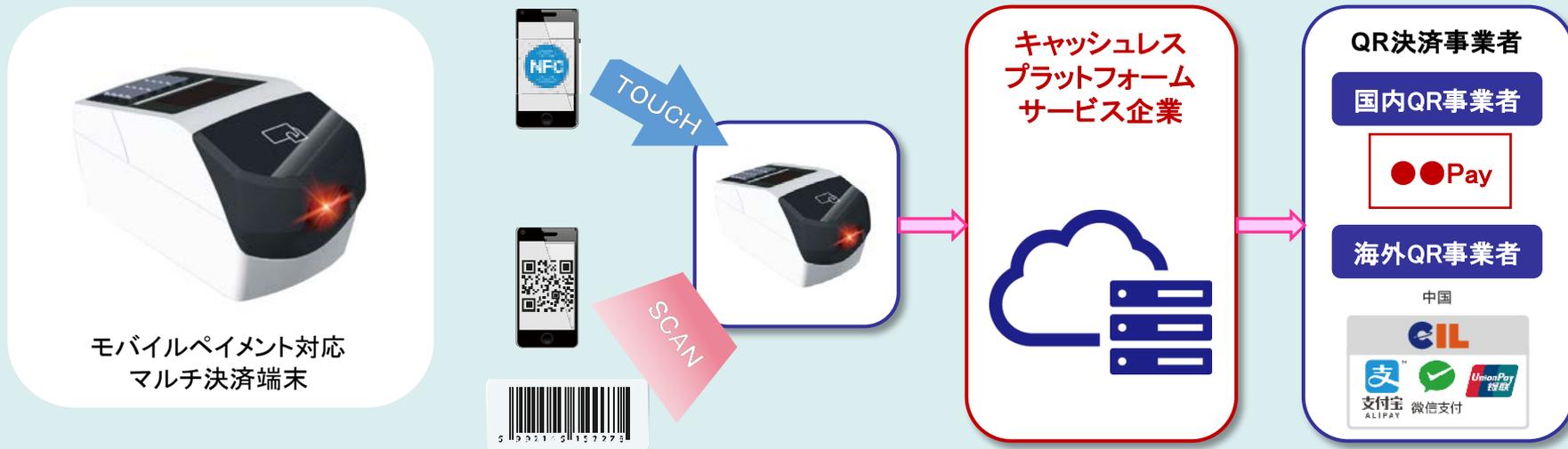


360度ドライブレコーダー

成長戦略：「安全・生活市場」（決済端末事業）

- ・ キャッシュレスプラットフォームサービス企業との協業で、マルチ決済端末の販売増を図る

キャッシュレスプラットフォームサービス企業との協業で、マルチ決済端末の販売増



成長戦略：「安全・生活市場」（セキュリティ事業）

- ・ エルモ社のセキュリティ事業をケイグランデに事業譲渡（2019年10月1日）
- ・ スピーディで効率の良い組織に再編

スピーディで効率の良い組織に！

マーケティング力の強化

効率的で価値の高い商品開発

ものづくり体制の最適化

管理業務の効率化

人材の有効活用



K-GRANDE

ELMO
CONNECTING MINDS



統合





VI. 経営課題の取組み

経営課題の取り組み : 新たな顧客価値の創造

新たな顧客価値の創造

- ・ M & Aを積極的に推進
- ・ 新たに加わった企業の技術やサービスを融合し、グループ全体で顧客価値の創造に取り組む

マーケティング力の強化

- ・ グループ協同での展示会を積極的に開催
- ・ タイテックでは、主力分野であるFA関連機器の分野で製品とサービスを「ITANZI」ブランドとして拡販

生産性の向上

- ・ 生産拠点の集約により、グループ全体の工場稼働率の平準化と資産の効率活用を推進し、高品質な製品を安定的に低コストで供給する、競争力のある生産体制の構築
- ・ 基幹システムの導入範囲を広げ、効率的な運営を行う

経営課題の取り組み : テクノホライゾングループ拠点

日本から世界へ、最先端の技術でグローバルなニーズにお応えします。

グローバル拠点



国内拠点



経営課題の取り組み : 国内展示会出展(予定)

会期	展示会	会場
2019年3月	SECURITY SHOW 2019	東京ビッグサイト
2019年3月	応用物理学会 2019 春	東京工業大学
2019年3月	MEDTEC Japan 2019	東京ビッグサイト東ホール
2019年4月	第4回 名古屋 機械要素技術展	ポートメッセなごや
2019年4月	OPIE 2019	パシフィコ横浜
2019年4月	メディカルメッセ	名古屋国際会議場 イベントホール
2019年5月	働き方改革EXPO	東京ビッグサイト
2019年6月	NEW EDUCATION EXPO2019 東京	東京ファッションタウンビル(TFT)
2019年6月	NEW EDUCATION EXPO2019 大阪	大阪マーチャンダイズ・マートビル(OMM)
2019年6月	画像センシング展 2019	パシフィコ横浜
2019年6月	日本顕微鏡学会 第75回学術講演会	名古屋国際会議場
2019年6月	第10回教育ITソリューションEXPO(EDIX2019)	東京ビッグサイト(青海展示棟)
2019年7月	賃貸住宅フェア2019 in 東京	青海展示場
2019年9月	JASIS 2019	幕張メッセ
2019年9月	第2回 [名古屋] スマート工場EXPO	ポートメッセなごや
2019年9月	第3回 関西 教育ITソリューションEXPO (EDIX関西 2019)	インテックス大阪
2019年10月	THHフェア2019 東京	科学技術館
2019年11月	2019年国際放送機器展 (Inter BEE 2019)	幕張メッセ
2019年12月	Photonix2019	幕張メッセ
2019年12月	国際画像機器展2019	パシフィコ横浜
2019年12月	THHフェア2019 名古屋	名古屋国際会議場 イベントホール
2020年1月	放射光学会 2020	福岡国際会議場
2020年1月	第12回 オートモーティブワールド(第8回 コネクティッド・カー EXPO)	東京ビッグサイト
2020年2月	第4回 スマート工場EXPO	東京ビッグサイト
2020年2月	第6回 ウェアラブルEXPO	東京ビッグサイト
2020年2月	第31回 東京 設計・製造ソリューション展(第2回 ものづくりAI / IoT展)	東京ビッグサイト
2020年2月	キャッシュレスTech	東京ビッグサイト
2020年2月	ヘルスケア・医療機器 開発展 [大阪] -MEDIX 大阪	インテックス大阪
2020年3月	SECURITY SHOW 2020	東京ビッグサイト
2020年3月	応用物理学会 2020 春	東京工業大学
2020年3月	MEDTEC Japan 2020	東京ビッグサイト東ホール

IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：経営企画部長
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： info@technohorizon.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。